

平成 16 年 度 同 窓 会 行 事 ・ 業 務 報 告

1. 総括

「母校支援事業の実践」および「会員相互の交流親睦」を基本方針とし、継続事業である会員サービスの充実を図ると共に、昨年度までに企画検討してきた幾つかの新事業を実践することに重点をおいた活動を展開し、概ね計画通りに各事業を実施することができた。

母校支援の実践に関しては、社会で活躍する卒業生による母校教育点検、奨学金制度の創設、母校学生募集への協力などを行った。会員相互の交流促進に関しては、同窓会賞記念講演および親睦会、東京での土木・建築OB会を行った。計画していたゼミやクラブOB名簿の作成は住所調査の不備により継続事業となった。また、新学科から卒業生が誕生することを記念し、新学科卒業記念品を協学会と共同で作成して卒業生と教職員へ寄贈した。

2. 重点事業

1) 母校教育点検

母校の教育内容を社会で活躍している卒業生に検証して頂き、その改善点を提案することを目的とした母校教育点検事業を本年度から開始した。本事業は継続的に実施することを考え、同窓会内に事業委員会（委員長：小島副会長）を設置し、年度毎に幾つかの学科について実施する方針でスタートした。

本年度は建築学科の教育点検を行い 11/10 に報告書を大学へ提出した。なお、予定していた他 2 学科については諸事情により実施できなかった。

2) 同窓会奨学金制度の創設

最終学年に在籍する準会員に対する奨学金制度を創設した。この制度は大学からの要請を受けて実施したものであり、今年度は 2 名に対し奨学金を貸与した。

3) 同窓会アーカイブスの開設

同窓会活動を適切に記録すると共に大学および同窓会の歴史的なものを展示し、来学した卒業生などが閲覧・見学できるようなメモリアル空間として同窓会アーカイブスを 4/19 に開設した。今後は徐々に展示物を充実させると共に空間を PR し、同窓生が立ち寄るような空間を創り上げる予定である。

また、図書館には経営工学科支部の寄贈コーナーを設置し、既存学科の証を残すことも行った。

4) 受賞記念講演&懇親会

定例総会に併せて前年度創設した同窓会賞の授与式および受賞者記念講演を 7/10 に開催した。今年度は機械と建築のOB 2 名へ雪嶺賞を授与し、記念講演会および懇親会には 120 名程の卒業生や学生に参加して頂き、定例総会の付随イベントとして盛会であった。

5) 母校学生募集の支援

母校の学生募集を継続的に支援するため、次のことを行った。

1)OB 高校教員を対象とした「母校視察会」を 6/26 に開催し、大学の教育指導内容をPRすると共に母校受験の指導をお願いした。参加者は 81 名（OB 教員 22 名、他 28 名、学生 31 名）であり、今年度は工高出身の学生にも参加して頂いた。

2)KODAI セミナーの開催に合わせて「地域懇話会」を 9/4 に開催し、学生募集および就職支援をPRする機会を設けた。参加者は 8 会場で計 94 名であった。3 年目となる地域支部行事として定着しており、教職員と地域支部との情報交流の機会として機能しているようである。

6) その他

1)同窓会の運営財源となる会費徴収に関し、正会員会費を入学時徴収に変更し、卒後 35 年経過会員からは継続会費を徴収することを次年度より実施することにした。

2)釧路支部 10 周年に近隣支部役員を派遣し地域支部間交流を実施した。また、東京において土木・建築OB会を初めて開催し、関東地区にいる卒業生の親睦交流を推進した。

※これらの事業は多くの大学教職員、本部役員および支部役員の多大なるご協力をもって実施できたものでありますので、ご協力頂いた方々に改めて感謝申し上げます。

3. 年間の行事・業務

平成 16 年度の具体的な行事・業務の内容は次の通りである。